

三木市幼保一体化計画の見直しについて

【目次】

1	計画見直しの背景	1
2	見直しに至った要因	2
3	今回の検証で分かったこと	5
4	今後の方向性	8
5	計画の見直し内容（1号認定児について）	9
	（1）三樹・平田小学校区	
	（2）三木・別所小学校区	
	（3）広野小学校区	
	（4）志染小学校区	
	（5）自由が丘・自由が丘東小学校区	
	（6）緑が丘小学校区	
	（7）緑が丘東小学校区	
	（8）豊地・口吉川・吉川小学校区	
6	計画の見直し内容（2号認定児について）	14
7	計画の見直し内容（3号認定児について）	15
8	今後の幼保一体化スケジュール	16
9	今後の幼保一体化計画の見直し時期について	17

作成・問い合わせ先：三木市教育委員会 教育振興部 教育・保育課
 TEL (0794) 82-2000 FAX (0794) 89-2450



1 計画見直しの背景

三木市の子ども・子育て施策の充実などにより、就学前児童数が当初計画で見込んでいたよりも増加していることや、就園希望率が上昇し、希望する園所に入園（所）できない児童が多数発生する状況となっています。

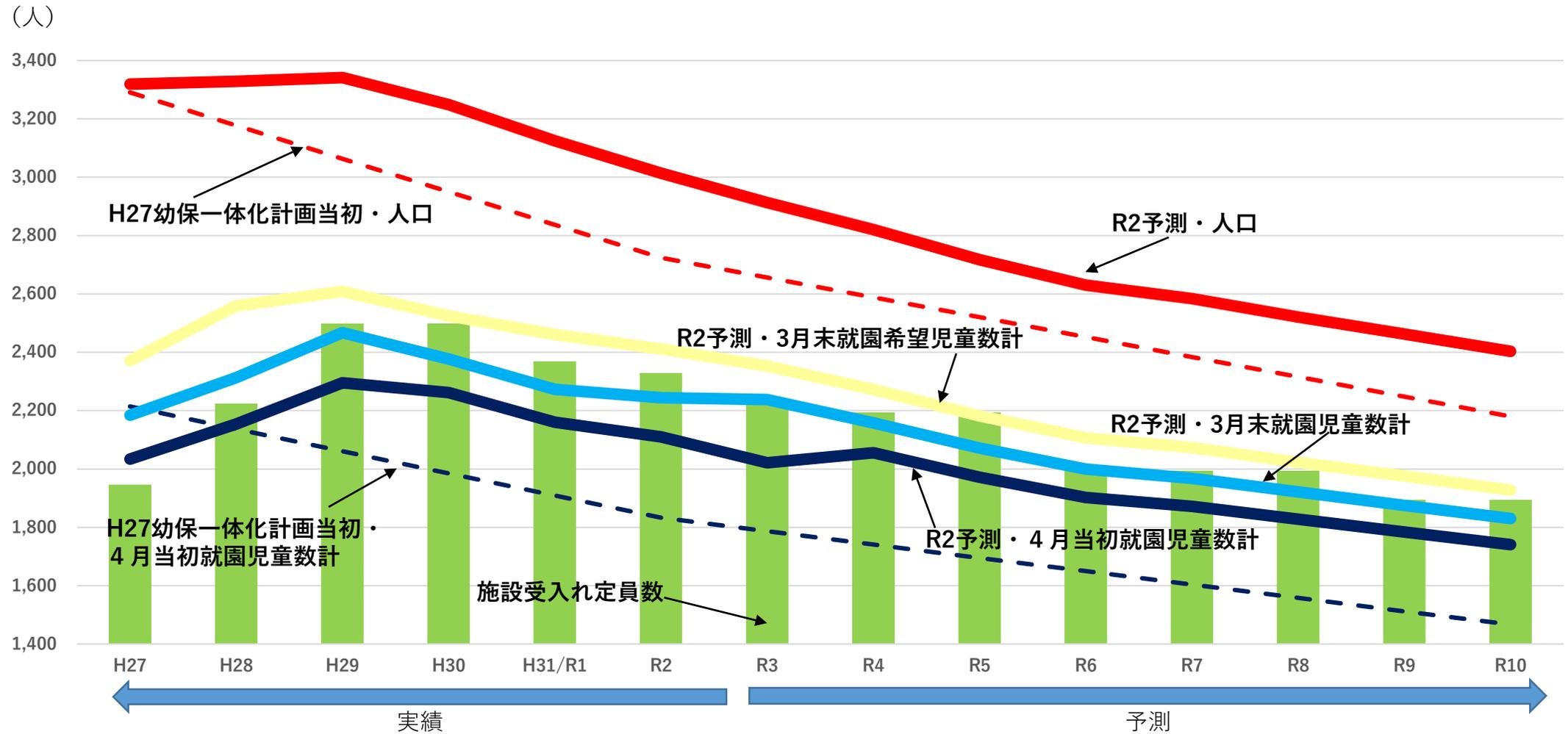
このまま計画どおりに公立園所の廃止を進めると、更に希望する園所に入園（所）できない児童が発生するため、公立は民間の補完的な役割を担うという幼保一体化計画当初の方針は残しつつ、廃園時期を見直すこととします。



2 見直しに至った要因

- (1) 幼保一体化計画の推計児童数が計画よりも減少していないこと。(表1)
- (2) 平成29年度から市が独自に実施している0～2歳児の保育料50%軽減により就園希望率が上がり、年度ごとの就園児童数が計画を上回っていること。(表2)
- (3) 令和元年10月からの国の3～5歳児の保育料無償化に伴い、1号認定3歳児の就園児童数が増加していること。(表3)

(1) 幼保一体化計画の推計児童数が計画よりも減少していないこと。(表1)



三木市全体推計予測児童数 (0~5歳児) 令和2年度調べ

(2) 0～2歳児の就園希望率が上がり、年度ごとの就園児童数が計画を上回っていること。

(表2)

	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
0歳児	44%	52%	49%	50%	58%	54%
1歳児	58%	58%	61%	56%	65%	68%
2歳児	64%	67%	70%	68%	66%	73%

【算出方法】

就園希望児童数／就学前人口×100

就園希望率（3月末時点）

(3) 令和元年10月からの国の3～5歳児の保育料無償化に伴い、1号認定3歳児の就園児童数が増加していること。

(表3)

	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
3歳児	3%	8%	12%	16%	12%	19%

【算出方法】

1号認定児数／就園児童数×100

1号認定児在籍率（3月末時点）

3 今回の検証で分かったこと

(1) 今後の0～5歳児の人口推計予測(※)において、一部の地域で人口増・微減が見られること。(表4)

※今回の0～5歳児の人口推計予測の考え方については、子どもを出産する母親となる世代(25歳から39歳まで)の人口推計を基にしています。

【第1園区】

小学校区	R3を100%とした場合のR15の人口割合
三樹	82.7%
平田	123.5%
三木	79.9%
広野	73.7%
別所	76.6%

【第2園区】

小学校区	R3を100%とした場合のR15の人口割合
志染	43.4%
緑が丘	81.6%
緑が丘東	55.5%
自由が丘	69.5%
自由が丘東	66.0%

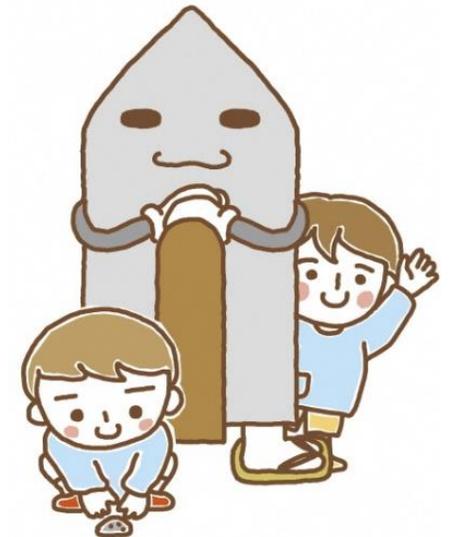
【各園区】

小学校区	R3を100%とした場合のR15の人口割合
第1園区	92.5%
第2園区	66.9%
第3園区	47.8%
市全体	79.2%



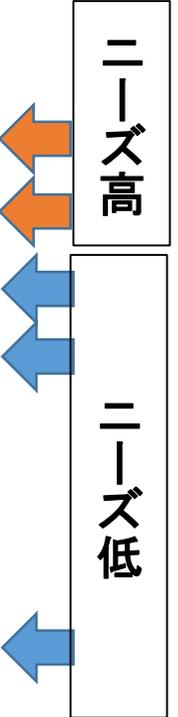
(2) 各認定児により、希望する園所の傾向が異なること。(表5)

認定別	希望する園所の傾向
1号認定児 ・ 3～5歳児 ・ 保護者の就労なし	・ 子どもを在住の小学校区へ入園させたい。
2号認定児 ・ 3～5歳児 ・ 保護者の就労あり	・ 子どもを在住の小学校区へ入園させたい。 ・ 保護者の就労に便利な場所へ入園させたい。
3号認定児 ・ 0～2歳児 ・ 保護者の就労あり	・ 子どもを在住の小学校区へ入園させたい。 ・ 保護者の就労に便利な場所へ入園させたい。 ・ 就労に際し、早く子どもをどこかの園へ入園させたい。



(3) 各小学校区により、1号認定児のニーズが異なること。(表6)

小学校名	H31/R1			R2			R3			1号認定児 割合平均
	1号 認定児 在籍数 (人)	3~5歳児 人口 (人)	1号 認定児 割合 (%)	1号 認定児 在籍数 (人)	3~5歳児 人口 (人)	1号 認定児 割合 (%)	1号 認定児 在籍数 (人)	3~5歳児 人口 (人)	1号 認定児 割合 (%)	
三樹小	33	154	21	40	148	27	41	149	28	25 %
平田小	43	204	21	48	229	21	52	215	24	22 %
三木小	17	129	13	15	123	12	18	120	15	13 %
別所小	19	136	14	18	117	15	19	115	17	15 %
広野小	30	164	18	39	162	24	29	145	20	21 %
志染小	6	30	20	7	32	22	6	34	18	20 %
緑が丘小	33	168	20	28	141	20	27	139	19	20 %
緑が丘東小	33	188	18	27	170	16	26	181	14	16 %
自由が丘小	39	229	17	43	224	19	37	198	19	18 %
自由が丘東小	29	143	20	26	135	19	24	123	20	20 %
合計	282	1,545	18	291	1,481	20	279	1,419	20	19 %



第1・2園区各小学校区 3~5歳児のうち、1号認定児の割合

4 今後の方向性

- (1) 就園児童数だけでなく**就園希望児童数**についても調査し、より確かな教育・保育ニーズを把握します。
- (2) **3～5歳児**（1・2号認定児）については、小学校就学前に教育・保育を受ける大切な時期に当たるため、**就園希望児童数を上回る施設規模**を必ず確保します。
- (3) **各認定児別に地域の傾向**を探り、今後の受入予測を立てます。
 - ・ 1号認定児…各小学校区別
 - ・ 2号認定児…各小学校区別・園区別
 - ・ 3号認定児…市全体数

○待機児童とは

入所申込みをしたが、希望月に入所できなかった児童を「入所保留児童」といいます。その中で、国の調査（4月1日時点）において、国の基準に基づき報告する児童を「待機児童」といいます。

※待機児童には、他に利用可能な保育所等の情報提供をしたが、特定の保育所等を希望し待機する場合等は除きます。

5 計画の見直し内容（1号認定児について）

（1）三樹・平田小学校区

当校区については、今後の0～5歳児の人口増に加え、1号認定児のニーズが高いため、主な受入れ園となっている神和認定こども園及びエンゼル認定こども園の1号認定児の定員を増やすとともに、三樹幼稚園の廃園時期を5年延長し令和10年度末まで延期することで、今後の就園希望児童数の増加に対応します。

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
神和認定 こども園	1号受入必要児童数	21	21	20	20	19	20	24	27	27	26	26	26
	1号認定児定員数	17	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
	過不足児童数	▲4	7	8	8	9	8	4	1	1	2	2	2
エンゼル 認定 こども園	1号受入必要児童数	29	27	28	30	31	34	41	48	49	48	48	47
	1号認定児定員数	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
	過不足児童数	▲1	1	0	▲2	▲3	▲6	▲13	▲20	▲21	▲20	▲20	▲19
三樹 幼稚園	1号受入必要児童数	18	18	18	18	18	19	10					
	1号認定児定員数	40	40	40	40	40	40	40					
	過不足児童数	22	22	22	22	22	21	30					

三樹幼稚園 4歳児募集停止

三樹幼稚園 廃園

【課題】

三樹幼稚園が廃園した後、再び不足児童数が増加するため、今後も適宜廃園時期について見直します。

(2) 三木・別所小学校区

当校区については、現在の近隣施設の定員数で今後も1号認定児を受入れるため現行予定のとおりとし、変更は行いません。

(3) 広野小学校区

当校区については、現在の近隣民間施設の定員数で今後も1号認定児を受入れるため、広野幼稚園については現行予定のとおり、令和5年度末で廃園します。

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
ひろの 認定 こども園	1号受入必要児童数	16	18	16	16	15	16	15	15	15	15	15	16
	1号認定児定員数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
	過不足児童数	1	▲1	1	1	0	1	2	2	2	2	2	1
えびす 認定 こども園	1号受入必要児童数	14	14	13	13	12	13	13	13	13	12	12	12
	1号認定児定員数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
	過不足児童数	3	3	4	4	5	4	4	4	4	5	5	5
広野 幼稚園	1号受入必要児童数	8	3										
	1号認定児定員数	30	30										
	過不足児童数	22	27										

広野幼稚園 4歳児募集停止

広野幼稚園 廃園

(4) 志染小学校区

当校区については、近隣施設の定員数で今後も1号認定児を受入れるため現行予定のとおりとし、変更は行いません。

(5) 自由が丘・自由が丘東小学校区

当校区については、近隣に就学前施設が少なく、自由ヶ丘認定こども園及び自由が丘幼稚園で就園希望児童数を補っていく必要があるため、人口が減少し、自由ヶ丘認定こども園の定員数を増やして対応できるようになるまで(※)、自由が丘幼稚園の廃園時期を3年延長し、令和8年度末まで延期します。

※令和9年度以降の自由ヶ丘認定こども園の定員増については、就園希望児童数と他の近隣園の受入れ可能枠を調整しながら対応します。

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
自由ヶ丘 認定 こども園	1号受入必要児童数	15	15	15	15	26	36	35	34	32	32	31	31
	1号認定児定員数	17	17	17	17	28	※39	39	39	39	39	39	39
	過不足児童数	2	2	2	2	2	3	4	5	7	7	8	8
自由が丘 幼稚園	1号受入必要児童数	25	26	26	25	12							
	1号認定児定員数	50	50	50	50	50							
	過不足児童数	25	24	24	25	38							

自由が丘幼稚園
4歳児募集停止

自由が丘幼稚園
廃園

(6) 緑が丘小学校区

当校区については、人口の減少は少ない傾向にありますが、3号認定児の受入れが必要なことから、当初令和8年度末で廃園予定としていた清心緑が丘認定こども園の廃園時期を令和15年度末まで延期し、近隣認定こども園とともに1号認定児を受入れます。ただし、令和4年度に限っては、2園の受入れだけでは不足が生じるため、緑が丘東幼稚園が補います。

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
りんいでん 認定 こども園	1号受入必要児童数	30	31	33	32	30	29	28	27	26	25	25	24
	1号認定児定員数	17	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
	過不足児童数	▲13	▲4	▲6	▲5	▲3	▲2	▲1	0	1	2	2	3
清心緑が丘 認定 こども園	1号受入必要児童数	14	14	14	14	13	13	12	12	11	11	11	11
	1号認定児定員数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	過不足児童数	6	6	6	6	7	7	8	8	9	9	9	9



清心緑が丘認定
こども園 廃園

(7) 緑が丘東小学校区

当校区については、現在の近隣民間施設の定員数で今後も1号認定児を受入れるため、緑が丘東幼稚園については現行予定のとおり、令和5年度末で廃園します。

また、住宅開発等によって一時的に児童が増加した場合は、2号認定児枠の空きを1号認定児枠へ移行し、対応します。

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
清心 認定 こども園	1号受入必要児童数	10	15	17	17	15	16	15	14	13	13	12	12
	1号認定児定員数	10	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
	過不足児童数	0	2	0	0	2	1	2	3	4	4	5	5
緑が丘東 幼稚園	1号受入必要児童数	13	7										
	1号認定児定員数	40	40										
	過不足児童数	27	33										

緑が丘東幼稚園 4歳児募集停止

緑が丘東幼稚園 廃園



(8) 豊地・口吉川・吉川小学校区

当校区については、現在の近隣施設の定員数で今後も1号認定児を受入れるため現行予定のとおりとし、変更は行いません。

6 計画の見直し内容（2号認定児について）

2号認定児については、計画当初から定員枠を多めに設定しているため、各園区内で調整し、受入れしていくことで不足は生じないとみられることから、変更は行いません。



7 計画の見直し内容（3号認定児について）

3号認定児については、現在も慢性的な受入れ不足が続いており、今後も需要が多くみられるため、令和4年度からりんでん認定こども園及び別所認定こども園の定員を増員します。

また、清心緑が丘認定こども園及び小規模保育施設5園については令和15年度末まで、志染保育所については令和16年度末までそれぞれ廃園時期を延期し、3号認定児を受入れます。

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
第1園区	3号受入必要児童数	473	461	487	486	480	478	473	466	458	452	448	444
	3号認定児定員数	425	425	425	425	425	425	425	425	425	425	425	425
	過不足児童数	▲48	▲36	▲62	▲61	▲55	▲53	▲48	▲41	▲33	▲27	▲23	▲19
第2園区	3号受入必要児童数	282	253	248	237	230	235	226	223	218	214	213	209
	3号認定児定員数	251	251	267	267	267	267	267	267	267	267	267	267
	過不足児童数	▲31	▲2	19	30	37	32	41	44	49	53	54	58
計	3号受入必要児童数	755	714	735	723	710	713	699	689	676	666	661	653
	3号認定児定員数	676	676	692	692	692	692	692	692	692	692	692	692
	過不足児童数	▲79	▲38	▲43	▲31	▲18	▲21	▲7	3	16	26	31	39

りんでん認定こども園 定員増（プラス18人）
別所認定こども園 定員増（プラス15人）

志染保育所 R6定員増
（プラス16人）

R15末 小規模保育施設（3号定員95人）廃園
R15末 清心緑が丘認定こども園（3号定員30人）廃園
R16末 志染保育所（3号定員30人）廃園

【課題】

今後も数年間は、市全体で新たな受入れ枠の確保及び保育教諭の採用が必要です。

8 今後の幼保一体化スケジュール

今回変更部分

年度 施設名等	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
別所 認定こども園	公立で運営（継続）													
清心緑が丘 認定こども園	H29年度から民間で運営		利用定員を調整			認定児ごとに調整しながら令和15年度末に廃園						廃園		
よかわ 認定こども園	公立 運営	R4年度から民間で運営（継続）												
三樹幼稚園	公立運営				段階的に募集停止					廃園				
緑が丘東幼稚園	段階的に募集停止			廃園										
自由が丘幼稚園	公立運営				段階的に募集停止					廃園				
広野幼稚園	段階的に募集停止			廃園										
志染保育所	公立運営	利用定員を調整								段階的に募集停止し令和16年度末廃園				廃園
小規模 保育施設	H29年度から民間5園で運営			利用定員を調整し令和15年度末に廃園						廃園				

※ 幼稚園の休園については、廃園予定年度に関係なく1学年5人以下を目安とし、保護者と協議の上、決定します。

9 今後の幼保一体化計画の見直し時期について

毎年、就学前の児童数及び就園希望児童数の動向を確認し必要な定員見直しを行うとともに、3年ごとに全体計画の見直しを実施します。

